

聖愛

二月号

原町聖愛保育園

二〇〇七年二月一日 発行

今年、雪が降らず暖かい日が続いていますが、時々みつかる、小さな水溜りに張った水を見つけては、手で触ったり、足で踏んでわれる音を楽しんだりしています。

子どもたちは元気に、友だちと集団遊びを楽しんでいます。

手伝いといえずら

いつも子どもは、発達期にあつた興味や関心を抱いていて、その思いのままに行動します。這い這いを始めるころから、物事の分別がつかだす二歳になるころまでは、自分の目にとまったもの、手に触れたもの、耳に聞こえたものは、興味や関心の対象となつて行動が引き出されます。

てんし組の夕方の様子です。先生が洗濯を終えたタオルを干していると、子どもが近づいてきてかごからタオルを取り、先生がいつもやる、しわを伸ばす真似をして手渡ししてくれます。干し終わると次に、掃除機のあるところに行つて、引きずるようにして運んできてくれます。

タオルを取ろうとしたとき、掃除機を持つてきてくれたときの大人の声かけが、「手伝い、か、いたずら、かに分かります。」「ありがとう、ちょうだい」と手渡しもらえば、子どもの行為は手伝いになり、次の行動に繋がります。しかし、「触らないで」とか「邪魔だから」と、阻止されれば、いたずら(される)と受け取られたことになつて、次に繋がりません。

大人は子どもが近づくと「あつちへ行つてなさい」「だめ」などと、初めから、次の行動をさせまいとする対応になることもしばしばです。それが明らかに危険を予測できることは、勿論、即座に止めるべきですが、

自分の行動が相手や周りの人々から認められた、役に立てた、と実感出来ることは大人も子どもと同じく嬉しいことです。小さい時から自分の行動を、否定や阻止され続けられれば、その人間からは相手の立場に立つた、自発的な喜ばれる行動などは生まれなくなります。

子どもは、大人に喜んでもらえることで自分の喜びを理解し、満足しながら学んでもいます。やる方もやってもらう方も気持ちのよい手伝い。子どもの小さな行為は、受け止められ方で全く違つてきます。

園長 遠藤美保子

2月の主題

年長「いきいきと」

年少「できたよ いっしょに」

暗唱聖句「わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。」
ルカによる福音書5章32節

| | 保育目標 | 活動 | 保育者の配慮 |
|-----------------|--|--|---|
| てんし 0歳児 | 自由に動けること、やれることを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> なぐり描き 触れ合い遊び(トンネルくぐり 人間ジャングルジム) 追いかっこ かくれんぼ 坂道登り降り | <ul style="list-style-type: none"> 触れ合つて遊ぶ時は、身体を自ら動かすよう促したり、力を入れてつかまつたり、バランスをとることを意識しながら楽しめるようにする。 坂道や固定遊具を登り降りなど、手足を十分使って遊ぶことに誘いかけ、じっくりと遊べるように配慮する。 |
| つぼみ 1歳児 | 友だちと一緒にいることを喜び、遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ハサミを使って(線や丸を切る) のりを使って(家作り) お家の中で(ままごとごっこ) 追いかっこ(むつくりくまさん、おおかみさん今何時、かごめかごめ) 坂道、砂利道を歩く | <ul style="list-style-type: none"> 遊びを共有する、経験が出来るように簡単なルールのある遊びを取り入れる。 言葉のやり取りも出来るように保育者が仲立ちし、言葉を補つて繰り返し楽しむ。 身の回りのことを自分でやろうとする、気持ちの芽生えを大切にし、衣服の前や裏表、ボタン掛け外しなど一つひとつ丁寧に教える。 |
| はな 2歳児 | 友だちや保育者と一緒に、一つの遊びを繰り返し楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> かくれんぼ 鬼ごっこ 尻相撲 手押し相撲 ケンケン跳び 折り紙(折る、ちぎる、切る) ハサミ、のりを使って工作 | <ul style="list-style-type: none"> 共通した遊びを友だちと一緒にやることで、楽しいと感じられるよう遊びの発展を見守る。 指先を使い、細かい作業をじっくりと出来る環境をつくる。 一人ひとりの身辺自立を見直し、出来ることを一緒に喜び、自信につなげて、出来ないことへの取りかかきのきっかけにする。 |
| ファミリークラス 3歳児 | 友だちと一緒に遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、関わりを更に深める。 | <p>《室内》</p> <ul style="list-style-type: none"> トランプ遊び(スピード、ババ抜き、神経衰弱、七五三、一九三) ※1 お別れ会の準備(なみ、ほし) ※5 プレゼントの準備(なみ、ほし) ※5 長寿荘プレゼント作り(つき) 鎖編み(つき) ミシンを使って袋作り、アイロン掛け(つき) <p>《戸外》</p> <ul style="list-style-type: none"> 対抗で行なう遊び(陣取り、警泥) ※4 | <ul style="list-style-type: none"> 遊びを楽しめる雰囲気作りが心がけ、ルールが分からない子には、年長児に入ってもらい関わりを深められるようにする。 ※1 年少児と遊ぶ機会を設け、時には自分の気持ちを抑制することで、楽しく遊べることに気付けるようにする。 ※2 |
| ファミリークラス 4歳児 | 自分たちでやることに見通しを持ちながら生活をする。 遊びを友だちと相談して進める。 | <ul style="list-style-type: none"> 氷鬼 ※2 長縄(大波、小波、郵便屋さんのおとしもの) ※3 短縄(前跳び、後ろ跳び、走り跳び) ※3 竹馬 ※3 | <ul style="list-style-type: none"> 何が出来るかを考え、相手に喜んでもらうことを楽しみにできるように準備の手助けをする。また、自分たちが中心となつて行事をすすめながら、自分も大きくなったことを実感できるようにする。 ※5 遊びのルールを理解し、継続することで、面白さを感じているか?子ども同士意見を出し合つてお互いが共通理解し、満足して遊べているか把握し導く ※1 |
| ファミリークラス 5歳児 | 様々なことを最後までやり遂げ、達成感や満足感を味わう。 | | <ul style="list-style-type: none"> 自分で目標を持ち、それに向かって最後まで頑張れるよう励ます。 ※3 グループ対抗の遊び、ゲームでは、途中でやめたりせずに、仲間意識を持ちながら、楽しく遊べるようにする。 ※4 |



2月の行事予定

| 日 | 園の行事 | 職員の予定 |
|-------|-----------------------|---------------------|
| 1(木) | ポップコーン | |
| 2(金) | 節分お楽しみ会 | |
| 3(土) | 入園説明会 | 熊坂先生相談会 |
| 6(火) | しゃりん梅訪問 久米本先生来園 | |
| 7(水) | インターンシップ(小高工業高校生) | 職員会議 |
| 8(木) | 小人さんの音楽会 | 育児支援 |
| 10(土) | 保護者会主催「木工教室」 | |
| 12(月) | 振替休日のため休園 | |
| 13(火) | 合同礼拝 久米本先生来園 | 聖書研究「タラントの会」 |
| 14(水) | 避難訓練 子育てサークル(ブーさん) | マネージャー会議 |
| 15(木) | 長寿荘訪問 | 構造化会議 |
| 16(金) | | 保連役員会 |
| 17(土) | | 相双支部総会・研究大会・講演会 |
| 19(月) | しゃりん梅訪問 | |
| 21(水) | 子育てサークル(レインボー) | 企画会議 |
| 22(木) | 小人さんの音楽会 | |
| 23(金) | ポップコーン | |
| 26(月) | お弁当の日 | |
| 27(火) | | 聖書研究「めぐみの会」 園内研修 |
| 28(水) | 子育てサークル(ブーさん) | 給食会議 |

◇節分お楽しみ会 2月2日(金) 全園児 ～ 節分について ～

節分とは、もともと季節の変わり目で、「立春」、「立夏」、「立秋」、「立冬」の前日のことを言います。昔の暦では春から新しい年が始まったため立春の前日は、一年の最後の日として特別な意味を持つようになりました。

また、この日に豆をまくのは、豆に宿った穀物の霊の力で悪を追い払うことができたと考えられていたからです。



「鬼は外」の鬼は、私たちの心の中にある醜いもの、罪なるものであるかもしれません。豆まきをして、そうしたものを勢いよく追い払い、明るく清い心で春を迎えたいと思います。

☆ねらい：節分の由来を知り、体や心についた悪いものを追い出す習慣を知る。季節の変わり目を知る。

☆礼拝 10:00～

☆お楽しみ会 10:20～(保育園ホール)

- ・劇「鬼のよめさん」
- ・マジック ・うた「鬼のパンツ、豆まき」

◇長寿荘訪問 「スポーツ大会」 2月15日(木) つき組
長寿荘主催のスポーツ大会に、つき組さんが招かれました。一緒にゲームをしながら楽しい一時を過ごします。入居者の皆さんが、子どもたちと触れ合うことで元気になっていただけたら嬉しく思います。

*当日は、8時30分までに登園させてください。

◇子ども同士の遊びの中で生まれるもの

仲間と一緒にする「集団遊び」は、体を動かして遊ぶだけでなく相手との気持ちのやりとりも含まれていて、「相談する」「主張する」「納得する」「我慢する」など、心の経験も同時にしています。

年齢の違いで遊びの内容も違い、仲間意識の育った今ごろは、友だち同士で遊ぶことを喜びます。

はな組やつぼみ組の子どもたちも保育者の仲介で、友だちとのやりとりを喜びます。年齢が大きくなるにつれて、友達同士で遊びこむようになり、年長児は年下児にルールを教え、また、チームごとに作戦を立てるなどして、友だちと協力しあって仲間意識を強めています。

幼児期に、“友だちと一緒に楽しい”という思いを、様々な場面を通して感じて欲しいと願っています。



子どもたちは仲間同士の遊びの中から、いろんな社会の約束事をつくっていきます。仲間と一緒に遊べるようになると、まずルールをつくります。そして、ルールを守る子が原則として遊びに参加できるのです。次に、役割を決めます。どんな遊びにも同じ役割というものではなく、それぞれに役割を決めて演じています。 中略

仲間との遊びの体験をしっかり和積み重ねることで、ルールを守ったり、責任を果たしたり、触れ合う中で感動を分かち合ったり、共有し合っていきます。「子どもへのまなざし」著者 佐々木正美

◇できたよ いっしょに

子どもたちは4月の頃に比べ、できるようになったことが増えました。日々の生活で繰り返して覚えたこと、保育者や友だちがやっていることをみて、「自分もやってみよう」と取り掛かって出来るようになったことなどたくさんあります。

「できた」という体験は、またやってみよう、もっとやりたい、につながり、子ども自身がいきいきと過ごすのに大事な気持ちです。目に見えて確認出来ることにとどまらず、目には見えない子どもの心の思いを大切に育てましょう。

- ・身の回りのことが自分でできるようになりました。
- 衣服の着脱、片付け、通園カバンの準備、手伝いなど
- ・話がわかるようになりました。
- 先生や友達の話聞いてわかろうとする。
- 自分の思いを、聞いてもらいたい・わかってもらいたいという思いで、言葉で相手に伝える。
- この他にも出来るようになったことがいっぱいあります。



◇インターンシップ(職場体験) 2月7日(水)～9日(金)

小高工業高等学校より学生(2学年生徒・4名)が来て職場体験をします。子どもたちは高校生との触れ合いをとっても喜びます。戶外遊びなどでは、お兄さん達が鉄棒や縄跳び、竹馬などを見せてくれると、自分も…と一緒にやりたがり、挑戦する姿が見られます。

◇お知らせ・お願い

◎2月23日(金)午睡用タオル類を持ち帰りますので洗濯をお願いします。

◎寒いから、ちょっとの時間だから、とエンジンをかけたままの車を見かけますが、車からは離れる時は必ずエンジンを止めてください。また、盗難防止のためにも、車から離れる際は鍵をかけましょう。(車上あらしにご用心。)